



令和3年7月16日（金）
国土交通省関東地方整備局
鬼怒川ダム統合管理事務所

記者発表資料

令和2年度 優良工事等の事務所長表彰について

鬼怒川ダム統合管理事務所では、令和2年度に完成した工事、完了した業務の中で、特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者等について、下記のとおり表彰を行いますのでお知らせいたします。

記

- 日時：令和3年7月21日（水）
- 表彰件数等（対象工事件数 1件、対象業務件数 1件）
 - 優良工事 1件
 - 優良業務及び優秀技術者 1件

※例年であれば、表彰式を行っておりますが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、受賞される皆様方の健康や安全にも鑑みて、表彰状を送付することで表彰式に代えさせていただくことになりました。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・栃木県政記者クラブ 宇都宮市役所記者クラブ・日光記者クラブ
問い合わせ先
国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所 副所長（技術） <small>さいとう</small> 齋藤 <small>みつり</small> 充則 建設専門官 <small>こばやし</small> 小林 <small>まこと</small> 誠 電話番号 028-661-1342（管理課直通） http://www.ktr.mlit.go.jp/kinudamu/

令和2年度優良工事等事務所長表彰について

1. 目的

(優良工事表彰)

優良工事表彰は、鬼怒川ダム統合管理事務所発注の工事を受注し、その施工が優秀であって他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(優秀工事技術者表彰)

優秀工事技術者表彰は、鬼怒川ダム統合管理事務所発注の工事を担当した現場代理人及び主任（監理）技術者の中から表彰を行うことにより、技術者の誇りと資質の向上を図り、円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(優良業務及び優秀技術者表彰)

優良業務及び優秀技術者表彰は、その成果及び業務への取り組み方が優秀であり、他の模範となるものを表彰することにより、技術力の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(難工事功労表彰)

社会条件やマネジメント特性の厳しい工事を対象とした「難工事指定」試行対象工事のうち、施工が良好であって他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(工事等功労者表彰)

工事等功労者表彰は、鬼怒川ダム統合管理事務所発注の工事（業務）の施工（履行）において特に功労のあった者を表彰することにより、企業及び技術者としての誇りと資質の向上を図り、もって円滑に事業の推進に資することを目的として、当事務所独自で表彰制度を設けたものです。

2. 選定方法

優良工事等の選定は、鬼怒川ダム統合管理事務所のダム管理支所及び関係各課から推薦された工事及び業務の中から、優良工事等選定委員会において審査を行いました。

3. 選定方針

(優良工事)

- ① 当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ② 工事の難易や、創意工夫、安全対策、週休2日への取り組み等が特に優れているもの、BIM/CIM活用及びICT活用により出来形、品質が優れているもの。

(優秀工事技術者)

- ① 当該工事技術者の担当した工事が優良であり、かつ、工事中における当該工事技術者の功績が顕著なもの。
- ② 管理能力、技術能力、仕事に対する積極性、誠実性等が優れているもの。

(優良業務及び優秀技術者)

- ① 当該業務の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ② 業務計画段階から全体を掌握し、優れた企画力を発揮、積極的に斬新な提案を行うなど創意工夫がみられるもの。

- ③ 技術的に高度で複雑な業務を遂行し、優良な成果として取りまとめているもの。
- ④ BIM/CIM活用により品質が優れているもの。

(難工事功労)

- ① 「難工事指定」試行対象工事のうち、当該工事の成績が良好で、かつ、その功績が顕著なもの。

(工事等功労者)

- ① 当該工事、業務の成績が優良工事等表彰に準じて優良、かつ、その功績が顕著なもの。

4. 表彰される件数、人数 (詳細 別紙 参照)

	事務所長表彰
優良工事	1件
優良業務及び優秀技術者	1件、1名

5. 表彰式 例年であれば、表彰式を行っておりますが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、受賞される皆様方の健康や安全にも鑑みて、表彰状を送付することで表彰式に代えさせていただくことになりました。

6. その他 優良工事、優秀工事技術者、難工事功労等の工事で表彰された場合は、総合評価落札方式等において企業及び予定技術者の技術力評価が優位になります。

また、優良業務表彰及び優秀技術者表彰を受賞した場合、それぞれ企業及び担当技術者の技術力評価が優位になります。

なお、工事等功労者は、当事務所発注案件についてのみ総合評価方式等において企業の技術力の評価が優位になります。

【令和2年度鬼怒川ダム統合管理事務所長表彰】

優良工事

工事名	会社名	
R2 鬼怒ダム管内通信設備工事 <small>きぬ かんないつうしんせつびこうじ</small>	てくのさんぎょうかぶしがいしや テクノ産業株式会社	

【工事概要】

この工事は、ダム関連施設の点検に使用する監視カメラの更新、新設及びダム管理に必要な雨量等の各種観測データをリアルタイムで把握するために必要な、データ伝送装置の更新を行いました。

【表彰理由】

今回受賞された表記会社は、川治ダムにおいて豪雨を原因とする湖岸斜面の崩落に伴い被災した通信ケーブル等の復旧に当たり、工事着手前に現地の状況を綿密に調査し、その結果を基に現地に合った詳細な施工計画を立て、工事着手しました。崩落した急斜面に沿って人力で資材運搬を行うなど困難な条件の下、工事期間中には数度の大雪に見舞われながらも、万全な施工管理体制の下に工事が実施されました。また、データ伝送装置の更新に当たっては、日光市役所等の複数の関係機関との調整において、先方のニーズを的確に把握し、工事の円滑な推進に努められました。

優良業務及び優秀技術者

業務名	会社名	優秀技術者	
		技術者区分	氏名
R2 鬼怒川ダム管内堆砂対策検討 <small>きぬがわだむかんないたいさいさくけんとう ぎょうむ 業務</small>	かぶしがいしやけんせつぎじゆつけんきゆうじよ 株式会社建設技術研究所 とうきようほんしや 東京本社	管理技術者	くらはし まこと 倉橋 実

【業務概要】

この業務は、毎年増加していくダム貯水池内の堆砂について、将来的にダムの治水、利水の機能に支障が生じないようにするための、計画的かつ継続的な実施が可能な、鬼怒川4ダム（五十里、川俣、川治、湯西川）を統合した堆砂対策について検討を行ったものです。

【表彰理由】

今回受賞された表記会社及び技術者は、鬼怒川4ダムそれぞれの治水、利水に関わる特性を十分に理解した上で業務を実施し、堆砂対策として取り組む優先順位と対策方針を明確にしました。最も堆砂が進行している川治ダムにおいては、浅水域での無線遠隔操縦による水陸両用重機導入など、既存の手法にとられない独自の視点による検討が行われ、更には、時代の要請であるデジタルトランスフォーメーション（DX）を導入し、堆砂対策の効率化と計画的な進捗に資する積極的な提案が行われました。本業務で得られた結果は、今後の堆砂対策を本格化していく上で筋道となるものとなりました。